



村長所信表明

9月22日の占冠村議会第4回定例会にて、田中村長の村政執行に対する所信表明が行われ、村民並びに村議会議員に対して決意が述べられました。



の改善と、林業全体の発展のため国有林との連携を推進します。

観光振興や地域経済活動を維持するため、現在取り組んでいる新型コロナウイルス対策と新たな生活様式への対応は、今後も続くことが想定されますので、さまざまな取り組みなど施策の確立が必須であり、必要に応じて支援してまいります。

持続可能な地域をめぐる基本は、財政の確立が重要であり、必要な財政需要に定める計画をもつて対応し、一般財源と特定財源確保のための財政運営に努めてまいります。

② 安心して安心な暮らしを守る基盤づくり

村民が安心して暮らすための基盤は、医療や福祉、介護支援、救急医療、地域公共交通の確保など、いつでも誰もが享受できる体制があることだと考えておりますが、個々により希望するサービスが異なることもあ

り、不十分な点を少しでも改善し、住民ニーズに即したサービスができるよう努めてまいります。

毎年、全国各地で想定を超える災害が発生している現状があり、占冠村も被災地となる可能性があることから、防災対策を進めておりますが、いろいろな場面を想定し村民の命と財産を守る対策の確立を図ってまいります。

また、日常生活の中で地域づくりを進める活動として、地域防災組織や地域協働ボランティア活動が定着してきていますので、より一層の活動が図られるよう支援してまいります。

③ 未来を託す子ども環境づくり

占冠保育所の新築、トマム保育所の改築を進め、1歳児保育が行える基盤整備を行い、定住への条件整備も含め、女性が社会活動に参加しやすい環境づくりが進んでいます。次代を担う子供たちを地域が見守り、育て

I はじめに

令和3年第4回占冠村議会定例会の開催にあたり、この度の村長再選に伴い村政執行に対する私の所信を申し上げ、村民の皆様さま並びに村議会議員の皆様さまのご理解とご協力を賜りたいと存じます。

6月議会定例会において、2期目の立候補の決意を申し述べ準備を進めておりましたが、告示1週間前に不注意からトマム支所の階段を踏み間違え、転倒したことによる外傷性気胸で緊急搬送となり、手術を含め3週間の入院を余儀なくされましたが、不在の中で行われた村長選挙にもかかわらず無投票で2回目の当選の栄を賜りました。

このご期待に応えるためには、これまで以上に占冠村の発展に努めるとともに村民の皆様が、住みよい村と感じられるよう精神誠意尽力すること改めて決意しております。

本村の現状をみますと、コロナ禍で厳しい地域運営が続いていますが、コロナ

後の地域活動や経済活動、住民生活など、先を見据えた対応が求められていますので、広く皆さまのお力を拝借し、この大変な状況を乗り切つてまいりたいと考えています。

以下、村政執行の基本姿勢と政策について申し上げます。

II 村政執行に対する基本姿勢

村政執行の基本をこれまで同様、すべての村民が報われる社会を目指し「生まれてよかった」「育つてよかった」「暮らしてよかった」そして住み続けたいと思える村づくりを進めてまいります。

占冠村は先人たちの強い意志と努力により、交通の要衝としてさまざまな分野で貴重な地位を占める地域として、今後の発展に期待が寄せられていると感じています。この時代のニーズをうまく取り込み、持っている資源を活用し小規模ながら持続可能な地域として頑張れる村であると思っております。

るため子育て支援政策の充実に努めます。

教育環境については、コロナ禍ということもあり情報通信技術に対応した整備が進みました。この環境をより有効なものとするための人材育成や、利用しやすい環境をつくることなど、魅力を持たせる取り組みをしたいと思います。

平和や国際感覚を体験できる教育として、引き続き平和宣言を具現化する平和体験学習とアスペン市との短期交換留学を行います。

III おわりに

新型コロナウイルス感染症という誰もが経験したことのない環境が続いていますが、本村においても地域活動や経済活動に大きな影響を与えています。

中でも、人と人とのコミュニケーションの取り方が難しい環境になり、孤立や孤独といった思いが強まってしまうことが多くあったのではと思います。この環境

内在する多くの課題もあるかと思いますが、これらを着実に解消し村政を執行していくために、次に申し上げる三つを政策の柱としたいと考えております。

① 持続可能な地域づくり

地域づくりを進める上で、基幹産業である農業、林業、観光産業の振興は必要不可欠であり、移住・定住、集落対策にも関連性があることから、総合的な取り組みが必要であると考えています。

農業においては、新規就農者の営農や、後継者の就農など新たな農業者が増えていることから、農畜産物の多様化により基盤整備など必要な支援を行ってまいります。

林業においては、六次産業化での取り組みが行われ、様々な分野の成長が期待されますが、体制や事業者の育成、林業従事者の確保などが進まない現状を解消するための取り組みを進めます。また、林業の持続性を高めるため森林施業のあり方

を脱し、新たな社会生活へと変化していくための方策をみんなでご考え実行していくために、努力したいと考えています。幅広い方々の知恵やアイデアが必要となりますのでご協力をお願いいたします。

さまざまな課題を乗り越え、住みよい村づくりを実現するため村議会とも相談し、しっかりと取り組んでまいります。

村民の皆様さま並びに議会議員の皆様さまのご支援をお願い申し上げます。村政執行に対する所信といたします。

令和3年9月22日
占冠村長 田中正治